

自 己 評 価 表 ( 計 画 )

愛媛県立今治北高等学校 (大三島分校)  
学校番号 (16)

<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>
<p>自己肯定感を高め、豊かな人生を歩むために必要となる「生きる力」を育むため、以下の具体的な力・心・態度を育成します。</p> <p>(1) 自ら考え行動できる力 (2) 学校や地域を愛する心 (3) 多様性を認め合う寛容な態度 (4) 礼儀正しい態度と感謝の心</p>	<p>以下の項目に重点を置いて教育課程の編成・実施を行い、学校生活の中で主体的かつ意欲的に学ぶ生徒を育成します。</p> <p>(1) 基礎的・基本的な知識や技能の習得 (2) 地域資源を活用し地域に根ざした、体験的な教育活動の実践 (3) 総合的な探究の時間や学校行事、生徒会活動を通してどの生徒にも活躍の場を与える教育活動の実践 (4) 自身の在り方や生き方を考えながら、社会人として成長していくためのキャリア教育の実践</p>

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学 習 指 導	わかり易い授業の工夫	年間3回以上の研究授業を行ったり、授業公開・相互参観期間を2週間以上設けたりすることで教員相互の指導力の向上を図るとともに、ICTを積極的に活用した教育活動を実践する。また、生徒授業アンケートを実施し、満足度80%以上を目指す。 A：80%以上 B：75%以上 C：70%以上 D：65%以上 E：65%未満			
	指導内容の定着	年間5日以上学習支援日を設けたり、個別に適切な課題を与えたりするなど生徒の実態に応じた学習指導や学習支援を行い、生徒一人一人の進路実現のために、必要な学力を身に付けさせる。			
	家庭学習の充実	効果的な学習課題を研究して家庭学習の定着を図り、生徒の学習活動全般を適切に評価する。また、考査期間中の学習時間調査や放課後学習会の実施を通して、考査期間中の平均学習時間4時間以上を確保し、学年末での成績不振者0人を目指す。			
生 徒 指 導	適切な学校行事	学校行事の精選を図るとともに、本校の伝統である特色ある学校行事を充実させる。			
	活力ある特別活動	部活動に入り意欲的に活動することを推奨して、すべての部の活動を充実させ、各部の実力や目標に応じた各種大会への出場を目指す。			
	基本的生活習慣の確立	少人数ならではの家庭的で温かい人間関係の中で、挨拶や節度ある生活態度に関するきめ細かな指導を実践し、皆勤率の向上を図る。 A：35%以上 B：30%以上 C：25%以上 D：20%以上 E：20%未満			

※評価は5段階 (A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった) とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	就職指導の充実	就職内定率 100%を目標に、資格取得や学力定着のための個別指導、就職指導のより一層の充実を図る。また、社会人としての自覚を持たせるため、内定後の指導も充実させる。			
	職場体験活動の充実	1年生を対象としたインターンシップでは、社会に積極的に貢献できる人物の育成を目指すとともに、社会の一員としての自覚と責任を身に付けさせ、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。			
	個に応じた進学指導	一人一人を大切にされた個別指導の充実を図り、進路実現に向けて主体的に取り組む生徒を育成し、希望する学校への進学達成率 100%を目指す。			
家庭・地域との連携	P T A活動の活性化	学校活性化に向けて保護者の協力を得るため、P T A評議員会等を計画的に開催するとともに、その内容を充実させ、情報交換を密にするよう努める。			
	教育目標・経営方針の周知	分校通信の定期的な発行や今治市が発行する広報誌などへの記事掲載を通じて情報発信に努めるとともに、一日当たりのホームページ閲覧数 180 カウント以上を目指す。 A : 180 以上 B : 160 以上 C : 140 以上 D : 120 以上 E : 100 未満			
	学校評価の充実	教育活動全般において P D C A サイクルを確実に実施するとともに、教育の質の向上に努め、学校評価アンケートにおける生徒・保護者の評価向上につなげる。			
組織運営	分校運営の強化	本校の伝統・特性を生かした魅力ある学校運営に努め、振興対策協議会との連携をより強化する。また、各種メディアを有効に活用し、全国募集を含め島内外の生徒へ学校の魅力をアピールし、入学生 31 名以上を確保する。 A : 31 名以上 B : 29 名以上 C : 27 名以上 D : 25 名以上 E : 25 名未満			
	業務改善を通じた働きやすい職場づくり	<u>校務分掌の整理・統合により、業務分担の適正化と明確化に努めるとともに、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。</u>			

※評価は 5 段階（A : 十分な成果があった B : かなりの成果があった C : 一応の成果があった D : あまり成果がなかった E : 成果がなかった）とする。